

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 無限大シルク活性化糖ジェル  
MSDS 整理番号 : GP-1001  
会社名 : 株式会社 G プランニング  
住所 : 〒607-8067  
京都市山科区音羽役出町 2 番地  
担当部門 :  
電話番号 : 075-595-8323  
FAX 番号 : 075-595-8323  
緊急連絡先 : フラップ開発グループ  
電話番号 : 082-225-6677  
推奨用途及び使用上の制限 : 化粧品

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性 引火性液体 : 区分外

上記以外の項目は、分類できないまたは分類対象外である

健康に対する有害性 急性毒性 (経口) : 分類できない  
急性毒性 (経皮) : 分類できない  
急性毒性 (吸入: 気体) : 分類対象外  
急性毒性 (吸入: 蒸気) : 分類できない  
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト) : 分類できない  
皮膚腐食性/刺激性 : 区分 3  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 分類できない  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性/全身毒性 (単回ばく露) : 分類できない  
特定標的臓器毒性/全身毒性 (反復ばく露) : 分類できない  
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性 水生環境急性毒性 : 区分 2  
水生環境慢性毒性 : 分類できない

# 製品安全データシート

## GHS ラベル要素

絵表示 : なし  
注意喚起語 : 警告  
危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激性  
注意書き : 【安全対策】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。  
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
目の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

### 【応急処置】

「4. 応急処置」を参照。

### 【保管】

「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

### 【廃棄】

「13. 廃棄上の注意」を参照。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : アルメゾン、ヒアルロン酸コラーゲン  
レアアース、銀イオン（ナノシルバー分散液）、  
カンテン、アルミニウムレーキ（食品添加物）、  
セリシン、植物性ゼラチン  
化学名 : 非イオン系界面活性剤  
生分解性スクラブ  
水溶性成分  
水  
その他（香料）グレープフルーツエキス  
化学式 : 混合物のため記載せず  
官報公示整理番号 : 非公開（既存）  
CAS 番号 : 非公開  
危険有害成分  
P R T R 法 : 該当なし  
安 衛法通知対象物質 : 該当なし

## 4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い流す。使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激等の異常が現れたときは、使用を中止し、必要に応じて医師の診断を受ける。  
目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける  
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させる。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならないし吐かせようとしてもいけない。直ちに医師の処置を受ける。

# 製品安全データシート

応急措置をする者の保護 : 特別な保護は必要ない。

## 5. 火災時の処置

- 消火剤 : 初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。  
大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災時の特定危険有害性 : 引火性はない。
- 特定の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。  
危険なく実施できる場合は、火元への燃焼源を断つ。消火は風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

## 6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 多量の場合、人を安全に退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 流出した大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合は、ウェス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛り土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを取り除くとともに消化剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 使用後は容器のキャップをきちんと閉める。
- 安全取扱い注意事項 : 手洗い以外に、顔や体には使用しない。  
傷、はれもの、湿疹等、異常のあるときは使用しない。

### 保管

- 保管条件 : 幼児の手の届かない場所で保管する。  
温度の高い場所や直射日光の当たる所に長期間放置しない。
- 容器包装材料 : 記載すべき情報がありません。

## 製品安全データシート

### 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2011 年版)	: 該当なし
ACGIH (2011 年版)	: 該当なし
設備対策	: 特になし
保護具	
呼吸器の保護具	: 通常の取り扱いでは必要なし。
手の保護具	: 通常の手袋では必要なし。
目の保護具	: 通常の手袋では必要なし。必要に応じてゴーグル等の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 通常の手袋では必要なし。
衛生対策	: 特になし

### 9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	: 液体
色	: 微青色不透明
臭い	: わずかに臭いがある
pH	: 7.6 (代表値)
物理的状态が変化する温度	
沸点	: 100℃以上
引火点	: なし
爆発限界	
下限	: 情報なし
上限	: 情報なし
比重 (又は密度)	: 情報なし
溶解性	
水	: 可溶
その他の溶媒	: エタノール等 (スクラブ材を除く)

### 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件では、化学的に安定である。
危険有害反応性	: なし
避けるべき条件	: 長期間にわたり、60℃以上におくと分離することがある。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

# 製品安全データシート

## 1 1. 有害性情報

急性毒性	: (製品データ) 情報なし (成分データ) 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: (製品データ) 刺激性なし (成分データ) 刺激性なし
眼に対する重篤な 損傷/刺激性	: (製品データ) 情報なし (成分データ) 情報なし
感受性	: (製品データ) 情報なし (成分データ) 情報なし
変異原性	: (製品データ) 情報なし (成分データ) 情報なし

## 1 2. 環境影響情報

残留性/分解性	: (製品データ) BOD <sub>5</sub> : 140 mg/L (製品 0.1W/V%水溶液) (成分データ) 情報なし
生体蓄積性	: (製品データ) 情報なし (成分データ) 情報なし
生態毒性	
水生生物毒性	: (製品データ) 情報なし (成分データ) 情報なし
備考	: (成分データ) は主剤の非イオン系界面活性剤の参考値。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 漏出時の措置の他、多量の場合は、免許を所持している専門業者 へ処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄するときは、内容物を処理した後処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

国際規制	
IMDG (国際海上危険物規則) コード	: 該当なし
ICAO-TI (国際民間航空機関技術指針)、IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則)	: 該当なし
国連分類	: 該当なし
国連番号	: 該当なし
国内規制	: 該当なし
輸送の特定の安全対策及び条件	: 直射日光を避ける 高温体との接触を避ける。

# 製品安全データシート

---

## 1 5. 適用法令

薬事法（化粧品）

---

## 1 6. その他の情報

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS 中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な手扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、仕様が用途に合致しない場合もありますので事前に弊社に相談して下さい。

また、当社は、MSDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

---